

令和2年7月10日

5年生保護者の皆様へ

あま市立甚目寺小学校長
田邊 孝博

今年度の野外活動の中止について

盛夏の候、保護者の皆様には、日頃は本校の教育に格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、全校児童の登校が始まり、徐々に本来の学校生活が戻ってまいりました。しかし、引き続き新型コロナウイルス感染症への警戒が必要な状況が続いています。そんな中、市内の他の小学校とも何度か協議を重ね、校内でも野外活動のあり方や実施方法について検討してまいりました。

今年度につきましては、下記のような理由で十分な教育効果をあげる活動を実施することが難しいと判断し、誠に残念ですが、野外活動を中止とさせていただくことといたしました。保護者の皆様には、ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- ・ 現在、感染防止のため、家庭科の調理実習を見合わせています。このような状況の中、班での協調性や責任感を身に付ける目的で毎年実施してきた飯ごう炊飯を行うのは難しいです。
- ・ 音楽の授業で大きな声で歌うことや、体育の授業で、直接人とふれあう活動を控えている現状があります。そんな中、キャンプファイヤーにおいて、大きな声で歌ったり、スタンプ等でふれあったりする活動させることが難しいです。また、今年度は、休校が長引き学習の遅れが心配される中で、夏季休業も短縮されました。スタンプの練習等で、通常の授業時間がこれからどんどん削られていくことも避けたいです。
- ・ 修学旅行先での旅館と違い、野外活動の施設では児童らが自主的・主体的にさまざまな活動を行うことが前提で運営されていますので、管理のための人数は多くはありません。各部屋については、前の団体の退所後にはアルコール消毒を職員で行うと伺っていますが、その後の消毒・清掃作業・シーツの交換等は、自分たちで行う必要があります。そのため衛生管理がどこまで徹底できるかという心配が残ります。
- ・ 施設の食堂はバイキング形式が基本です。それを避けようとする、パック弁当やサンドウィッチを注文することになります。

野外活動は自然と直接触れ合ったり、集団生活での協調性や規律を身に付けたりと友達や自分のよさを再発見したりする貴重な学習の場ではありますが、以上のことから、今年度は苦渋の選択をさせていただきました。